



変形性関節症に対する グルコサミン塩酸塩の治療効果

梶本修身他、日本臨床栄養学会雑誌, 20(1): 41-47, (1998).

要約:グルコサミン塩酸塩による変形性膝関節症(OA)に対する治療効果を二重盲検クロスオーバー法により検討した。50名の膝OA患者を無作為に3群に分け、グルコサミン塩酸塩1.0g/day, 1.5g/dayおよびプラセボを投与し、投与前及び投与後4週目、8週目の症状の度合いを日本整形外科学会制定の変形性膝関節疾患治療成績判定基準(JOAスコア)に従い判定した。グルコサミン1.0g/dayおよび1.5g/dayいずれの投与でも、主症状である「疼痛・歩行能」をはじめ「夜間自発痛」、「圧痛」などに対し著明な改善効果が見られた。グルコサミン1.5g/day投与群は1.0g/day投与群に比べ何れの症状においても改善率が高い傾向にあり、この範囲においては改善効果は用量依存的であることが示唆された。

